

○ 委員長報告

9月定例本会議で報告された総務企画委員長報告は、以下のとおりです。

令和6年9月定例会

総務企画委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、本県の財政指標等についてであります。

このことについて一部の委員から、令和5年度決算に係る健全化判断比率に対する所感はどうか。また、大規模災害の発生を見据え、すぐに活用できる基金はどの程度であるのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、本県では赤字額は発生しておらず、実質公債費比率・将来負担比率ともに早期健全化基準は下回っており、財政面で危機的な状況にあるとは考えていないが、社会保障費の増加や公債費の高止まり、今後の景気の下振れなど先行き不透明な要素もあることから、これらの財政指標を注視しながら、今後も重要施策の推進と財政健全化の取組みを進めたい。

また、有事の際に活用できる財源対策用基金の今年度末時点の残高見込みは420億円で、昨年度策定した財政運営基本方針で目標とする400億円規模を確保しており、今後もこの水準の維持を目標に財政運営に努めたいとの答弁がありました。

第2点は、官民共創の推進についてであります。

このことについて一部の委員から、官民共創拠点の整備内容の公募について、どのような提案を求めるのか。また、トライアングルエヒメ事業のこれまでの成果と今後の展開はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、公募型プロポーザルにより事業者を選定し、内装工事や什器等を含めた施設案や概算費用などを求めることとしている。

また、トライアングルエヒメ事業は昨年度までの2年間で73件のプロジェクトを実施し、約12億円の経済効果と2千人のデジタル人材育成など、着実に成果をあげている。3年目を迎える今年度は、東京大学発で、AIスタートアップ企業の育成に多数の実績を持つ株式会社松尾研究所との協働事業など、新たに20件を採択し、継続分と併せて約100件のプロジェクトに取り組んでいる旨の答弁がありました。

第3点は、NHK朝ドラの誘致活動についてであります。

このことについて一部の委員から、今後予定されているNHK本部への要望活動や、十河信二氏の妻キクさんの故郷である函館市との連携、聖地化の取り組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、NHK本部へは知事と西条、新居浜の両市長が要望活動を行う予定である。昨年度までは主に県内での認知度向上や機運醸成を図ってきたが、広く全国的に誘致活動を広げていく必要もあるため、キクさんの出身地函館市にも署名活動の協力やキクさんに関する資料調査などを依頼しており、今後も連携強化を図っていききたい。

また、聖地化については、十河氏に関連する四国鉄道文化館や十河信二記念館に加え、同氏が通学した西条高校などをゆかりの地としてPRしたいと考えており、引き続き、関係者と連携を図りながら、誘致活動に取り組む旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ 県税の徴収確保
- ・ 新第二別館における土砂災害対策
- ・ 職員の採用
- ・ 「三浦保」愛基金条例の改正
- ・ 若者参加型地域づくり推進事業

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。